



桜のライトアップ 約7万3,000人が 楽しみました

3月28日～4月6日に打上川治水緑地で行われた「桜のライトアップ」は、10日間で延べ約7万3,000人が訪れ、池に映り込む絶景の「水面桜（みなもざくら）」や期間中日替わりで市内の飲食店が出店した「桜カフェ」、桜をモチーフにした「桜スイーツ」などを楽しみました。

池沿いの小道を竹細工ランタンの優しい灯りが足元を照らす中、市マスコットキャラクターのはちかづきちゃんとなや丸くんもライトアップ限定衣装で登場するなど、今年も多くの人が会場内を笑顔で歩いている様子が見られました。



中核市「寝屋川市」が誕生

4月1日、寝屋川市は「施行時特例市」から「中核市」に移行しました。

この新たな門出を記念して開催した「中核市移行式」と「市保健所窓口（すこやかステーション）開所式」には、関係者ら合計300人が出席し、大阪府の濱田副知事から市長に事務引継書が手渡されました。

今後、保健所の運営を始めとした中核市移行による新たな権限をいかし、市民ニーズに迅速かつ的確に対応したサービスの提供や特色ある新たな施策の実施などにより、市民サービスを充実し、都市格を向上していきます。

桜の苗木を市に 寄贈

寝屋川ロータリークラブ 創立50周年記念

3月26日、寝屋川ロータリークラブ（出橋恒仁会長）が創立50周年を記念し、寝屋川市の打上川治水緑地に桜のジンダイアケボノの苗木を植樹しました。

市に50本の苗木を寄贈。黒御影石でできた記念碑（高さ1.5メートル）の除幕に続いて植樹式が行われました。

北川市長は「市では、市の木の桜を生かして地域の活性化を図るプロジェクトを3年前から推進しています。この中で寄贈していただいたジンダイアケボノがこの地で大きく育ち、地域の方に長く愛されることを願っています」と話しました。



水路を泳ぐこいのぼり

石津校区地域協働協議会が、家庭に眠る「こいのぼり」を石津導水路で泳がせようと始めた取り組みも今年で6回目。今回は田井校区地域協働協議会も加わり、1,000メートルに渡って悠々とこいのぼりが泳いでいます。子どもたちの手形を付けた珍しいこいのぼりも見つけました。

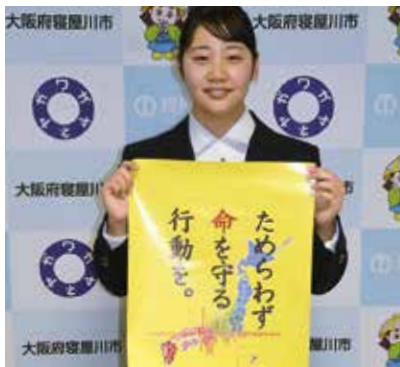


タイ王国の労働大臣などが寝屋川市を訪問

3月29日、タイ王国のアデゥン・セーンシンゲーウ労働大臣を始めとする訪問団が市を訪れました。アデゥン労働大臣は日本の法務大臣との意見交換で来日し、その後、親交のある北川市長を表敬するために寝屋川市を訪問しました。

リラットへの視察後に市役所で行われた歓迎式典には、寝屋川市ふるさと大使の豪栄道関も急ぎよ駆け付け、訪問団を出迎えました。その後の意見交換会はとて和やかな雰囲気で行われ、有意義な交流となりました。

優秀な成績を取めた皆さん



まつしずか
松本涼花さん
(当時・市立第二中学校3年生)
○第34回防災ポスターコンクール
防災担当大臣賞を受賞



約2万枚の花びらでチュールリップアート

4月14日、チュールリップの花で絵を描くイベントが大利町で行われました。

チュールリップアートは今年で5回目を迎え、地域の小・中学生や大人約200人が参加し、キャンパスにチュールリップの花びらを1枚ずつ丁寧に貼り付け、市ふるさと大使の豪栄道関や新元号「令和」にちなんだ作品など、色とりどりの鮮やかなアートが完成しました。

チュールリップは、産地の富山県から提供されたもので、球根生産の工程で発生する花びらの部分を活用しています。



(右から)甲邊太陽さん(当時・啓明小学校6年生) 椎山寛太さん(当時・市立中央小学校6年生)
○第8回日本フットサル施設連盟選手権U12全国大会優勝、椎山さんは大会MVP受賞